

# 第7回 文献の適切な引用に基づく文書作成

2026/06/17

1

## 今回やること

1. 不正行為(改竄、捏造、剽窃、盗用)の基本知識
2. AIの取り扱い
3. 文献の引用方法

2

1. **不正行為の基本知識**
2. AIの取り扱い
3. 文献の引用方法

## 1. 不正行為の基本知識

教科書p. W38

3

## 導入

- これまでWordを使った文書作成について学びました。
- 実際にレポートなどを書く際には、何に気を付ければよいでしょうか？



4

## 文書作成における不正行為

- **改竄、捏造、剽窃、盗用**が代表的な不正行為。
- わざとでも、うっかりでも罪に問われる。
- 大学の卒業論文やレポートなどで行うと、不正行為として単位の取り消しなどの処分を受ける可能性がある。

知らなくても不正行為です。



剽窃なんて知らないよ〜

5

## 改竄とは

- 文書・記録等の一部またはすべてを不当に改めること。
- 身近な例
  - ✓ 消費期限切れの商品の消費期限を書き換えて売る。
  - ✓ 車の燃費データを書き換えて、燃費が良いとする。
- インターネット上では、通信に対する攻撃として存在。
  - ✓ 暗号、認証などのシステムにより、改竄を防ぐ。

猫の情報を送る〜



改竄



犬の情報を貰った!

6

## 捏造とは

- 存在しない文書・記録等を作成すること。
- 身近な例
  - ✓ 実際にはやっていない実験の結果を、あたかも実行して得られたかのように論文に記載する。



7

## 剽窃とは

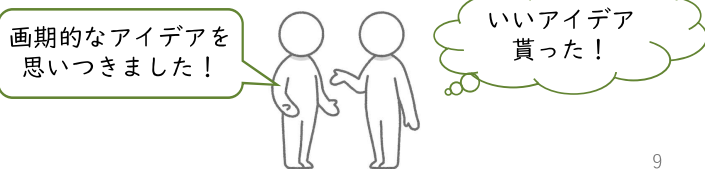
- 他者の文章や表現を、出典を明記せずにそのまま、または少し表現を変えて自分の文章として発表すること。
- 身近な例
  - ✓ 他人のレポートの考察部分をコピー&ペーストして、語尾だけ書き換えて自分のレポートとして提出する。



8

## 盗用とは

- 他者のアイデアや分析方法、データなどを適切な引用や著者の了解なしに、自分のものとして発表すること。
- 身近な例
  - ✓ 他人の論文のアイデアを、自分の考えのように発表する。



9

## 演習1：不正行為の見極め

演習

1. UNIPAの「xxxx\_7.docx」をダウンロードする。
2. xxxx部分を、自分の学籍番号に変更する。
3. 演習1に従い、各事例が改竄、捏造、剽窃、盗用のどれに当たるかを答え部分に記入する。

10

## 演習2：不正行為の身近な例

演習

- xxxx\_7.docxの演習2を参考に、不正行為の身近な例を提示せよ。
- その際、根拠となるニュースサイトや資料のURLも載せること。

11

1. 不正行為の基本知識
2. AIの取り扱い
3. 文献の引用方法

## 2.AIの取り扱い

教科書p. W38

12

## AIと文書作成

- 生成AIの進歩とともに、レポートなどの文書作成にAIを使用する事例が増えている。
- AIが生成した文章を、そのままレポートに転用することは、**不正行為**につながる。
  - ✓ 生成AIの文章は間違っている文章(ハルシネーション)を生成する可能性がある。
  - ✓ また、生成AIは引用を提示せずに、そのままの文章を提示する可能性がある。
    - そのまま使うと、盗用・剽窃になる。

13

## AIとのうまい付き合い方

- 生成AIが出した情報は、きちんと裏を取る。
  - ✓ 引用を提示させる、その引用元を確認するなど。
- 生成AIに入力した情報は、学習に使用される。個人情報や秘匿性の高い情報は入力しない。
- 情報検索やアイデア出しとしての活用にとどめ、最終的なレポート作成は自身で行う。
- 教員側は**剽窃チェッカー**を持っているので、生成AIの文章や、剽窃が含まれている文章は、高い確率で分かります。

14

1. 不正行為の基本知識
2. AIの取り扱い
3. **文献の引用方法**

## 3. 文献の引用方法

15

## 引用とは

- 自身の主張を補強するために、先行研究や客観的なデータを示すこと。
- 盗用や剽窃を防ぐためにも、適切な引用方法を身につける必要がある。
  - ✓ ただし、引用や参考文献の書き方は、分野によって異なる。
  - ✓ 今回示すのは、あくまでも一例。
- 引用の重要ポイント
  - ✓ 自分の文章と、引用箇所を**明確に区別する**。
  - ✓ 引用・参考にした資料は、**参考文献として提示する**。

16

## インターネット記事の引用

- インターネット上の情報は、だれでも匿名で書き込めるため、情報の信頼性が低い可能性がある。
  - ✓ Wikipediaやまとめサイトのようなものは、引用元にならない。
  - ✓ ジョークサイトなども存在する。
- 誰が、いつ書いたのか、主張の根拠が明確であるかといった点に注意して、引用する必要がある。
  - ✓ 企業や学会の公式サイト
  - ✓ 一般的なニュース記事
  - ✓ e-Statなどの公的な統計など

17

## 引用の仕方(1) 短い文章の直接引用

- **直接引用**は、定義や独特の表現など、原文をそのまま提示する必要がある場合に使う。
- 引用する文章をカギ括弧でくくる。

情報太郎は日本の情報教育について、「生徒だけでなく、教員への最先端技術の普及が急務である」と述べている[1]。

<<参考文献>>

[1] 情報太郎. 最先端の情報教育. 情報書房, 2024, p. 30

18

## 引用の仕方(2) 長い文章の直接引用

- 本文から前後1行ずつ空け、行頭を2文字下げる。

情報太郎は日本の情報教育について次のように述べている。

〇〇 急速に進展する現代の情報社会では、生徒だけでなく、教員への最先端技術の普及が急務である[1]。

<<参考文献>>

[1] 情報太郎. 最先端の情報教育. 情報書房, 2024, p.30

19

## 引用の仕方(3) 間接引用

- **間接引用**は、引用元のアイデアやデータを取り入れつつ、自分の言葉で要約する形式である。
  - ✓ 理系はこの形式をとる場合が多い。
- 引用元の文意と異なる要約にならないように注意する。

情報太郎は、現代の情報教育においては、生徒だけでなく、教員への最先端技術の普及が急務であるとしている[1]。

<<参考文献>>

[1] 情報太郎. 最先端の情報教育. 情報書房, 2024, p.30

20

## 番号の書き方(1)

### • **バンクーバー方式**

- ✓ 引用箇所に通し番号を付けて、参考文献一覧で番号順に参考文献を示す。
- ✓ 理系では一般的な方法。
- ✓ 番号の付け方を著者名順にするのか、出現順にするのかはその人次第。

情報太郎は日本の情報教育について、「生徒だけでなく、教員への最先端技術の普及が急務である」と述べている[1]。

<<参考文献>>

[1] 情報太郎. 最先端の情報教育. 情報書房, 2024, p.30

21

## 番号の書き方(2)

### • **ハーバード方式**

- ✓ 引用箇所に着者名、出版年を示し、参考文献一覧で著者名順(五十音順)に参考文献を示す。

情報太郎は日本の情報教育について、「生徒だけでなく、教員への最先端技術の普及が急務である」と述べている(情報太郎, 2024)。

<<参考文献>>

情報太郎. 最先端の情報教育. 情報書房, 2024, p.30

22

## 参考文献の書き方(1)

- 基本は、参考文献の情報だけでその文献を特定できるように書くこと。
- 論文
  - ✓ 著者名. 論題. 掲載誌名. 出版年, 巻数, 号数, ページ数.
  - ✓ 例) 小泉令三. 学校・家庭・地域社会連携のための教育心理学的アプローチ アンカーポイントとしての学校の位置づけ. 教育心理学研究, 2002, 50, 2, p.237-245.
- 図書
  - ✓ 著者名. 図書名. 出版地. 出版社名, 出版年, 総ページ数.
  - ✓ 例) 熊谷龍一. 荘島宏二郎. 教育心理学のための統計学. 東京. 誠信書房, 144p.

23

## 参考文献の書き方(2)

### • 図書の一部

- ✓ 著者名. “章タイトル”. 図書名. 編集者名. 出版地, 出版社名. 出版年, ページ数.
- ✓ 例) 宮本十至子. “納税義務者”. 入門国際租税法. 村井正編著. 東京, 清文社, 2013, p.48-63.

### • Webサイト

- ✓ 著者名. “ページ名”. Web サイト名. 出版年. URL, (アクセス日).
- ✓ 例) 中央教育審議会. “人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)”. 文部科学省. 2018-12-21. [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1412080.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1412080.htm), (参照 2024-02-02).

24

## 演習3：引用の演習

演習

- xxxx\_7.docxの演習3をもとに、以下を行え。
  - ✓ 間接引用
  - ✓ 直接引用
  - ✓ 参考文献の追加

25

## Google Scholarの活用(参考)

- Google Scholarを使うと、簡単に参考文献を書くことができる。
- 欲しい文献の引用をクリックする。
  - ✓ 引用が出現する。

26

## 演習4：Google Scholarの実践

演習

- xxxx\_7.docxの演習4をもとに以下を行え。
  - ✓ Google Scholar(<https://scholar.google.com/>)にアクセスする
  - ✓ 好きなテーマで論文を検索する。
  - ✓ Wordファイルにその論文の引用をコピー＆ペーストする。

27

## 次回以降の予告

- データ・AIの活用領域、データ・AIの利活用の技術・現場・最新動向
  - ✓ 第8回 AI・生成AIの現状と社会的課題（検索エンジンを用いた文献検索）
  - ✓ 第9回 AI・生成AIの最新技術に関する活用例（検索エンジンを用いた文献検索）
  - ✓ 第10回 生成AI (Copilot) の基礎
  - ✓ 第11回 生成AIを活用したとデータ生成の実践

28

## おわりに

- UNIPAの情報リテラシ I の第7回の課題として以下のファイルを提出してください。
  - ✓ 「xxxx(学籍番号)\_7.docx」
  - ✓ 期限は2026/6/23(火) **16:00**まで。
- PCをシャットダウンしましょう。

29